

令和3年度島根県スポーツ少年団

ジュニアリーダースクール及びリーダー研修会 活動報告

日 時：令和3年7月3日（土）～4日（日）

会 場：県立少年自然の家（江津市）

参加者：ジュニアリーダースクール 21名、リーダー研修会 2名

県内各地からスクール21名、リーダー研修2名、計23名の参加をいただき開催しました。始めは同じ団所属の者同士で話す場面が多く、班の中での会話もぎこちなさを感じられましたが、自己紹介や意見交換などを経て、徐々に打ち解けていっている様子でした。

昼食後には、施設プログラムである「GGG～江津グループワークゲーム～」を行い、施設指導員の指導の下、仲間で協力して様々なアクティビティに挑戦することにより参加者の距離が縮まり、団員それぞれが積極性や個性を発揮するようになってきました。

「運動プログラムを考える」では、班ごとにゲームを考え、考案しゲームを他の班が体験してみることで、スムーズに進まない部分は班内で話し合い、試行錯誤することでコミュニケーションスキルの向上を図りました。また、最後にはパラリンピック競技でもある「ゴールボール」を体験し、目隠しをして鈴が鳴る専用ボールを追う難しさを実体験することができました。

夕食後には「光の芸術」を実施しました。1作品目は各班で図柄を作成し、ロウソクをどこに配置するのか話し合いながら、また上から位置を確認しながら、創作活動に取り組んでいました。2作品目については、全体でスポーツ少年団のマークを作成しました。一人ひとりが自分の役割を理解し連携を取りながらロウソクを配置している姿は一日目ではありましたが、個々の成長を感じさせる瞬間でした。

二日目は、「ジュニア部会・学習」や「グループワーク」、「火おこし体験」を実施しました。

スポーツをする上での熱中症対策やどのように安全を確保しながら楽しい活動としていくのかを学びました。「火おこし体験」では、現代では当たり前に見える「火」をライター等ない時代にはどれだけ貴重な資源であったのか実感できたと思います。また、すぐに火が起こせた班もあれば、時間のかかる班もありましたが、協力しながら作業を進めることで連帯感がうまれました。

最後に「振り返り」では、今後の団活動の目標やリーダー活動へ向けたアンケートを実施しました。また、自分宛の封筒を作成し、終了後県スポーツ少年団より活動中の写真を送る予定としております。

全体をとおして、参加した団員が皆元気な笑顔で全プログラムを修了することができました。生きいきとした、そして二日間親元を離れ、また他団体の団員と過ごし全ての日程を終えた子供たちの顔つきは疲れの中にもたくましさを感じました。スクールに参加の21人全員がジュニアリーダーとして認定され、今後も自身の団での活躍はもちろん、様々な事業やリーダー会活動にも積極的に参加してくれることを期待しています。

○活動内容



